

下水道汚濁に排出枠 国交省検討



The Knights

国土交通省は、海の汚れを減らすために下水道の排水に含まれる汚濁物質を削減する新たな制度の導入に乗り出しました。同省によると、赤潮の原因となり、普通の下水処理では十分に取り除くことができない窒素とリンの削減を流域全体で実現することが最大の狙いです。2008年度からの導入を目指し、東京湾をモデルにした検討会を関係自治体などと組織し、2003年6月にも中間報告をまとめます。

新制度ではまず同じ流域の自治体が協議会を設置します(東京湾の場合、東京、神奈川、千葉、埼玉の4都県と横浜、川崎、千葉の政令指定都市が組織します)。この協議会で、水質基準を達成するための汚濁物質排出総量目標を決めて、下水道事業をしている各市町村ごとの排出枠を割り当てます。東京湾の場合、生活排水が原因と見られる汚濁が全体の60%をこえ、環境基準達成率も60%程度にとどまっています。検討会では、流域の農地の農薬や肥料が河川にどの程度流出しているかなども踏まえて、汚濁物質の排出総量や各自治体の排出枠の設定を探ります。そして各自治体は汚濁物質の排出量が枠内に収まれば、余った分を売ることができ、逆に収まらない自治体は売られた枠を買い取るか、リンや窒素を除去できる施設を作るかを選択します。これまでは施設投資に莫大な費用が必要となるため、財政難の中なかなか進みませんでした。新制度下では排水がきれいになった分の枠を売ることにより、設備投資の回収も可能とみています。

国交省下水道部は「琵琶湖や、大阪湾、伊勢湾などでも導入が可能」とし、東京湾に続き、調査検討することも考えています。

資料:11月25日付 朝日新聞、1面

化学分析課 金子 順恵

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL : www.knights.co.jp

事業内容

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 製品開発・品質管理に伴う化学分析 |
| 2 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 6 トータルサニテーション管理 |
| 3 水道法第20条に基づく水質検査 | 7 微生物に関する試験・調査 |
| 4 労働衛生管理に伴う作業環境測定 | 8 依託試験・研究・開発 |

